

令和6年第6回加西市教育委員会会議録

- 1 開会日時 令和6年6月25日(火) 14時00分
- 2 閉会日時 同 日 15時21分
- 3 開催場所 市役所5階 大会議室
- 4 出席者 教 育 長 菅 野 恭 介
委 員 沼 澤 郁 美
委 員 楠 田 初 美
委 員 中 川 和 之
委 員 深 田 英 世

5 上記出席者及び傍聴人を除き、会議に出席した者の氏名

教育部長	伊 藤 勝
次長兼教育総務課長	井 上 英 文
学校教育課長	小 坂 卓 司
こども未来課長	阿 木 博 信
生涯学習課長兼市史文化財係長	北 島 悦 乃
総合教育センター所長	三 村 尚 彦
図書館長	桜 井 雄 一 郎
学校再編室長	中 井 孝 浩
教育総務課長補佐兼総務係長	松 田 ち あ き
学校再編室(学校再編推進員)	吉 村 靖

地方教育行政組織及び運営に関する法律第14条第3項に定める定足数に達していることを確認し、議事に移ります。

6 付議事項

- 議案第22号 加西市学校運営協議会委員の任命について(追加)
- 議案第23号 加西市立学校 医療的ケア実施体制ガイドライン(案)
- 議案第24号 令和5年度加西市教育委員会点検評価について

7 議題となった動議を提出した者の氏名

なし

8 質問及び討議の内容

議案第 22 号 加西市学校運営協議会委員の任命について（追加）

（総合教育センター所長の説明）加西市学校運営協議会規則第 8 条の規定により、加西市学校運営協議会委員を任命いたします。期間は令和 6 年 6 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日で、5 月の定例教育委員会以降に追加で推薦のあった 1 名につきまして協議会委員に任命するものです。

教育委員の質問と総合教育センター所長の回答

- ・ どの学校の学校運営協議会委員ですか。

（回答）西在田小学校です。

議案第 23 号 加西市立学校 医療的ケア実施体制ガイドライン（案）

（学校教育課長の説明）加西市立学校医療的ケア実施体制ガイドラインを別冊のように案として作成しました。これを確定させ、市立小・中・特別支援学校に周知したいので、委員会の議決を求めます。

作成に当たっては、兵庫県の医療的ケア実施体制ガイドラインや県下の既に作成済みの市町のガイドラインを参考に、加西市医師会や兵庫県の医療的ケア運営協議会のメンバーである医療福祉センターきずなの常石ドクターにもご指導いただきながら作成しました。

教育委員の質問と回答

- ・ 今日もこども園を訪問しましたが、医療的ケアの必要なお子様がお一人いらっしゃいました。今回のこのガイドラインは、趣旨に「小・中・特別支援学校において医療ケアを必要とする児童生徒」と書いてあるのですが、こども園とかはこの中に入っていないのでしょうか。

（こども未来課長の回答）こども園では昨年 10 月に急遽、医療的ケアを必要とする乳児を受け入れる必要が出てきましたので、既にこども園におけるガイドラインを作成しています。

- ・ こども園のガイドラインは小・中・特別支援学校のものとは何か差異がありますか。

(こども未来課長の回答) 基本的なところに関しては同じで、医療的ケアの範囲も定めております。こども園に関しては義務教育ではありませんので、受け入れられるかどうかの判断を、委員会をつくりまして精査するという形にしております。

・今回のこのガイドラインは公表されますか。それとも内規的なものになるのですか。
(学校教育課長の回答) 内規にとどめようと思っております。

・もし公表されるのであれば、こども園のほうも公表になってくるかと思っておりますので、そこはご検討をよろしくお願いいたします。

もう一点、こんな大事な医療ケアですので、この文章においてご父兄の方や先生の医療機関等で印鑑は必ず必要であるように書式的に書かれていますが、今は例えば障害年金、傷病手当金、出産手当金等々では医者証明の印鑑は全く必要ございませんし、ほかの書類においても押印に関しては、署名があればなくす方向にどんどん行っているかと思っております。それでも大事な内容ですので、印鑑は必ず必要なのかどうか聞かせていただけますか。

(学校教育課長の回答) いろんな様式の中でも大事と思われる依頼書であるとか、承諾書などには印を押すように設定しまして、あとの連絡もの的な例えば全てパソコン打ちなどの文章になるようなものであれば、印はなしというふうに個々で区別はしたつもりです。命に関わる大事な書類ですので、まだここには印を押してもらったほうがいいのではないかと事務局の中では話をしました。

・大事な文書の場合、例えば身元保証人とかそういう場合に、押印を必要としますが、その場合は実印を押してもらう形になっています。ここは別に認め印でも何ら問題ないのでしょうか。

(学校教育課長の回答) お医者様の印につきましても、私印でも構わないと考えています。

・「必ずご父兄の方の押印を」と書いてあるものも、認め印でよろしいわけですね。
(学校教育課長の回答) はい。

・ゆくゆくは署名で可能になってくるのかもしれませんが、時代に合わせながら、また考えていただきたいと思います。

・医療的ケアについて一言言わせていただきます。私の子どもは重篤な障害を持っております。養護学校へ行っていたときには医療的ケアというものがなかったので、私も子どもを送っていき帰ってくるまでの間、先生からの電話をずっと待って全く

動けないような状態の時がありました。遠足を楽しみにして送っていても、帰るまでに「発作がありました。迎えに来てください。」と電話がありました。そんな状態がずっと続いていたので、もし当時この医療的ケアがあり、学校に対応をしていただけていたら、もっと子どもは楽しく友達と遊べて幸せな学校生活を送れただろうし、先生との人間関係ももっと親密にできたと思います。今の医療的ケア児を持っておられる親御さんたちは本当に生活のことも不安ですし、またストレスもいろいろ出る時代ですので、そういう医療的ケアが増していくことを切に願います。

私の子どもは修学旅行のときには本当に重篤だったので行けなかったのですが、校長先生に「連れて行ってください」とお願いをしたら、校長先生の配慮で「でしたら、ご夫婦と一緒に別で行っていただけたら、それは大丈夫です」と言っていただけました。そのときの校長先生には、すごく感謝をしています。旅行先では、先生方にいっぱい不安な思いや大変な思いをさせてしまったのですが、本当に思い出をつくれてよかったなと思っています。ですから、医療的ケアを要するお子さんも、他のお子さんと同じように自由に平等に教育を受けられる時代であってほしいなど、これからも医療的ケアが進むことを切に願います。よろしく願いいたします。

- ・ 今日訪問したこども園には看護師さんがいらっしゃいましたが、医療的ケアとなると看護師の免許を持っていないとできません。中には養護教諭で看護師免許を持たれている方もありますが、その場合でも養護教諭という立場上、医療的ケアには関われないので、緊急の場合や救急車というときの対応をどうするのか、逆にそういう本当に難しい面も含んでいると思います。こども園に経管ケアが必要で入ってこられたということですが、喉にたんを詰め、急に吸引が必要という場合も想定できます。学校は当然いろんな場面を想定して、できるだけ早く医療機関とか救急車に繋ぐことも、研修なり自主的な訓練などされているとは思いますが、人の命に関わることなのでこれを契機にもう一回研修なり、できたら実地訓練的なところも組み込んでいただければありがたいと思います。

(学校教育課長の回答) 学校看護師を配置することはもちろんですが、それプラス教職員の役割として子どもたちの支援者であるという立場をわきまえながら、研修等をきちんと行えるよう委員会としてもサポートします。

議案第 24 号 令和 5 年度加西市教育委員会点検評価について

(教育総務課長からの説明) 評価委員会において審議を行うため、教育委員会による評価を別紙のとおりとすることにつき、委員会の議決を求めるものです。点検評価につきましては、困難度と達成度によるマトリックス評価としています。12 項目のうち評価の困難度につきましては、「高」が一つ、「中」は 11 となっており、達成

度につきましては、「目標を大きく超えて達成」が一つ、「目標を超えて達成が」六つ、「ほぼ目標を達成」が五つになっております。ご指摘いただいた内容は、「教育委員評価コメント」欄に記載させていただき、質問的なコメントについては、14 ページに教育委員からの質疑と回答という形で回答をつけております。

教育委員の質問と教育総務課長の回答

- ・ 3 ページのこども未来課の主な指標の②のところですが、3 月 1 日現在こども園に入所している 0～2 歳について前年度に対する増加率 (%) で、目標が 1.0 というのは 1 % という意味ですか。
(こども未来課長の回答) 増加率 1 % を目標とします。定員がありますので、大きな数字の目標にはなりません。令和 4 年度に 0～2 歳の小規模園を開設してそこで大幅に増加はしているので、そこから上乘せというのはなかなか現実的には難しいところがあります。委員の先生からも、指標の取り方として入園率であると分母の変化によって毎年変わる。それならば増加率で評価をしてはどうかというご意見をいただきました。増加率になると 1 % 程度の目標とならざるを得ません。数字的には非常に小さい数字になるのです。
- ・ 一方で少子化で、生まれてきている子どもが減ってきている事態の中で、この増加率を確保するのも難しいというところもあるのですが。
(回答) 3～5 歳に関しては、ほぼ 100% の入園率であります。あと、0～2 歳に関していえば、無償化をしていますが、100% ゼロ歳から預けられるということではないので、要望があればその分を受け入れるような形を考えなければならないと思っています。
- ・ 例えば少子化になって子どもが減ってきたら、この目標達成できなくなる可能性もあるわけですね。
(こども未来課長の回答) そうですね。0～2 歳がほぼ 100% 入ってくるという状態になればですね。
- ・ 教育長の意見：今後、この指標そのものを本市の状況に合わせて検討してもいいかもしれませんね。
- ・ こういう指標が各ページに書かれてあり、本当に見やすくなったと思います。また、取組内容から指標、そして達成度、全てにおいて番号順番どおりで分かりやすくなっています。その反面、徐々に内容が多くなり、文章量的にかなり増えてきている

などというのが私の実感です。実際、資料として残す分にはこれはよく分かるのですが、一般の市民の方に見ていただく文章としては、かなり量が多いので、全部を読んで理解してくださるのは、だんだん難しくなっているのかなと本音として思います。ただ、分かりやすいのは分かりやすいです。量が増えただけだと思います。(教育長の回答) 今後、指標等を考える際に、今のご意見を参考にしたいと思います。この後、大学の先生を交えて評価をしていただきますので、これが最後になるわけではないですが、教育委員会としてはこの形で出させていただきますということです。

- ・(教育部長からの確認依頼) 教育委員のコメントについて、語尾の修正の了承をいただきました。

9 議決事項

議案第 22 号 加西市学校運営協議会委員の任命について (追加)

原案どおり可決

議案第 23 号 加西市立学校 医療的ケア実施体制ガイドライン (案)

原案どおり可決

議案第 24 号 令和 5 年度加西市教育委員会点検評価について

原案どおり可決

10 報告事項

教育長

教育長が参加した行事等について報告。

○兵庫県都市教育長協議会 5月29日 於 朝来市

協議テーマ「部活動の地域移行」「不登校対応」

部活動の地域移行については、教員の働き方改革と並行して慎重に進めます。

不登校対応については、校内フリースクールを、既に設置している加西市と北条中に続いて、7月に善防中と泉中でスタートさせます。

○教育委員計画訪問について

5月30日 善防中、泉中

6月7日 日吉小、富合小、九会小

6月12日 加西中

6月18日 賀茂幼稚園、加西こども園

6月25日 北条ならの実こども園、泉よつばこども園

いただいたご意見を学校や園運営に反映させて、さらによりよい学校・園にします。

○学校運営協議会委員研修会 5月31日 於 加西市コミュニティセンター
多可町教育委員会学校教育課長の恋田先生にお話をいただきました。

○議会本会議について 6月5日～
教育委員会関係でたくさんのご質問がありました。

○五百羅漢保存修理検討委員会 6月18日
風化が激しい五百羅漢の保存修理の進め方等について協議しました。

○第2回泉統合小学校の開校準備委員会 6月20日 於 北部公民館
校名、制服、バス、学童保育園等について協議しました。

教育部長

6月の定例議会についてご報告させていただきます。

教育委員会から上程した議案は、教育長の任命、教育委員の任命の2件で、人事案件のため初日に可決されました。一般会計補正予算では認定こども園とみたで子育てひろばを開設するために必要な補助金の増額、公立こども園がアスモや北条鉄道等を使って園外保育に使用するバス料金や入場料の増額、小中学校再編に伴うスクールバスの調査費の増額、総合教育センターの研修費の増額を計上しております。

また、議案に伴う質疑と市政全般における一般質問の両方で、13名の議員から質問をいただきました。質疑においては子育てひろばの開設、園外保育のバスの料金、スクールバスの調査費について答弁しました。一般質問では、教員不足の現状、教職員の管理職に求める資質、スクールサポーター、泉統合小で想定される学童保育やスクールバスの運行等、多岐にわたり答弁しました。

こども未来課長

私のほうからは2点ご報告させていただきます。

まず、任期満了に伴う子ども・子育て会議委員の任命について説明をさせていただきます。任期は令和6年7月1日から令和8年6月30日の2年間です。

続いて、就職フェアについてご報告いたします。毎年、私立園の保育士確保策の一つとして、加西市教育委員会が中心となりましてこども園、小規模保育園の保育士、保育教諭等の就職フェアを実施しております。日時は、6月29日の土曜日13時から15時の間で加西市民会館コミュニティセンター3階小ホールで行います。

教育委員の質問とこども未来課長の回答

- ・こども園と小規模保育園の就職フェアについてです。去年たまたま仕事でたつの市に行った時にパンフレットをもらいました。加西市では就職の面談という形ですが、たつの市では三つ、四つのこども園へ実際にバスで行って、どんなこども園かを見てもらうということをしていました。加西市もこれまでと同じようなやり方だと、あまり人は来られないので、難しいかもしれませんが、何か新しいパターンで実際にこども園を30分ずつ回って、加西市のこども園を知ってもらってはどうかと思います。それをやってみても同じような結果であれば、仕方ないとは思いますが、一度やってみてはどうかと思いました。

(回答) この取組みの方法に関しましては、我々こども未来課だけで決めているということではありませんで、私立園の各担当者とどういう形でやるというのは協議しながらやっております。

- ・市の契約しているマイクロバスを使って就職ツアーを組んだら、多分そんなに人も予算も超えるような気はしないのですが、マイクロバス1台あったら面談している間に回れるのではないかと思います。

(回答) そういったご意見については、また私立園との協議の中でこういうアイデアも出ているということで、紹介させていただきたいと思います。

- ・教育長の質問：去年は何人ぐらい来られたのですか。

(回答) 数としては少ないのですが、10名が来られて、そのうち4名が就職をされました。本当に加西市の中で就職したいという方々が来られているので、その中でマッチングができれば就職率としては高いと思います。

生涯学習課長

「こどものためのあそびとまなびの情報誌 こども情報誌」について報告いたします。これは毎年、夏休みと冬休みの長期休暇期間中に行われます市の各担当課、生涯学習関係機関等が開催する子ども向けの講座を一覧にして、学習機会の情報提供として配布させていただいているものです。情報誌は6月末までに児童生徒に配布いただくよう小・中・特別支援学校、こども園にお願いをさせていただきました。学校以外に各公民館、オークタウン、アスティア、図書館等に置かせていただきます。掲載されていますイベント数は全部で47件、ちょボラの情報は4件となっております。夏休みの様々な体験の機会として一人でも多くの児童生徒の皆さんに参加していただきたいと思っております。

図書館長

図書館では夏休み期間中に様々なイベントを計画しております。主なものとしまして、まず親子で楽しもうキッズ工作で、メダルを投入していろいろな品物を獲得して遊べるメダルゲーム機を作ります。色つけや飾りつけも楽しめるよう厚紙で作成します。小学生の親子を対象に7月21日10時から開催いたします。定員は先着20組で、申込みは7月6日から図書館のホームページのウェブ申込みとなっております。

次に、夏休みファミリーコンサートですが、8月10日閉館後、図書館3階で開催いたします。打楽器による演奏のほか楽器体験も予定しており、子どもも大人も楽しめる内容となっております。こちらは申込み不要となっております。

次に、多肉植物の寄せ植え教室ですが、市の農政課と共同開催となっております。加西市農村女性組織連絡協議会の皆さんからの手ほどきを受けながら完成させます。小学生とその保護者を対象としまして8月27日午後2時から開催いたします。定員は先着5組10名です。申込みは8月11日から図書館のホームページでウェブ申込みとなっております。以上紹介しましたイベント以外にも多くのイベントを計画しておりますので、夏休みにはぜひ図書館に足を運んでいただきたいと思っております。

教育委員の質問と図書館長の回答

- ・この図書館の夏休みキッズイベントは、全部無料ですが、来られた方に何か特典はあるのですか。

(回答) このイベントに参加された方に別途、何かを配布するようなことは、今のところないです。

- ・例えば「北条高校のらかんくんのおはなし会」では、北条高校の読み聞かせ班が、子どもたちのために一生懸命取り組まれているのですが、集まる子どもの数が少ないような気がします。何か特典をつけたほうがもっと参加率がいいのではないかと思いますか。

(回答) 毎週土曜日のボランティアさんによるお話し会は、お子様に参加カードをお渡しし、来られるたびにシールを貼っています。その際には自分でシールを貼ってもらうこともあるので、大変喜んで帰っていきます。

また、「北条高校のらかんくんのおはなし会」は、年に4回あり、先週第1回目がございました。図書館からは特段、景品を渡すことはございませんが、らかんくんと触れ合うことで子どもたちは大変喜んでいました。帰りには高校生が子どもたちに手作りの折り紙を渡されたりもしていました。

- ・分かりました。また何か工夫を凝らして来館率を上げていただきたいと思います。
- ・教育長の意見：できればインスタや TikTok で影響力のある人に紹介してもらうようにすれば、さらに参加者が増えるのではないかと思いますので、そういう広報活動もうまく活用できればと思います

学校再編室長

初めに、第2回泉中学校区統合小学校の開校準備委員会について報告します。6月20日に第2回を開催し、以下の4点を協議しました。

まず、1点目に統合小学校の学校名の選考をしました。学校名を公募したところ54名から27種類の応募がありました。委員会で一時選考を行い、泉、泉よつば、加西北、よつば、^{ありた}在^り多の五つに絞りました。次回の開校準備委員会においてこの五つの中から学校名を決定します。

2点目は体操服です。統合小学校の新しい体操服として、長袖と半袖シャツ、短パンの三つの導入を考えています。令和8年4月入学の新1年生から導入を考えておりますが、移行期間を長く取りたいと考えており、令和15年までは現在のそれぞれの小学校の体操服を着ていただいても構わないことにしています。完全移行は令和16年からの予定です。今年度内に新しい体操服を決定したいと考えております。

3点目は学童保育です。学童保育は現在の泉学童保育園に統合する方向で進めております。統合によって対象の児童数の増加が見込まれますが、新たな園舎の増築は行わず、統合小学校1階東側教室を活用し児童の受入れ増に対応したいと考えております。学童保育園につきましては、統合することで統合小学校と同じように人と人との関わりをそのまま放課後の生活の場においても活用できますし、また隣接する小学校にあることで学童保育園と学校と連携がスムーズに行うことも可能となります。また、防犯の観点からもそのほうが望ましいというふうに考えております。一方、デメリットとしては、統合することで送迎の距離が遠くなること、また駐車場の混雑も少し見込まれます。

4点目はスクールバスの関係です。現在、バスルートや時刻表をつくっており、まだ検討段階ですが、中型バス2台、小型マイクロバス2台、ワゴン車1台の計5台で10ルートを回る計画をしております。1台で2ルートずつ回るため、30分程度の時間差が出てきますが、ルートや時間を見直しできないかと現在、検討中であります。こちらについては次回以降も継続して協議を進めてまいりたいと考えております。

続いて、統合中学校の開校準備委員会について報告します。第1回準備委員会を6月27日19時からコミセン3階小ホールで開催する予定にしております。資料に準備委員会の設置要綱、委員一覧をつけさせていただきました。委員は学識経験者1名、

地域の代表者として各区長会からの推薦が8名、保護者の代表者として3中学校のPTA代表者、8小学校区のPTA代表者、関係学校の代表者として4中学校の校長先生、8小学校の校長先生も委員に入ってください、32名で準備委員会を開催します。

まず、第1回準備委員会ですので、委員長、副委員長の選出を行い、その後以下の3点の協議事項を話し合うことにしております。

1点目は統合中学校の整備に関して、用地買収から開校までのスケジュール、それから場所の地図をつけております。

2点目は制服です。制服は学校統合とは直接関係ないのですが、見直しを考えております。4月にアンケート調査を実施し、「現在の制服のままがいい」という意見、「ブレザータイプに移行するほうがいい」という意見、「どちらでもない」という意見がそれぞれ同じような割合ですが、ジェンダーの問題、機能性や経済性の問題、またセーラー服よりブレザーのほうが洗濯など手入れは比較的容易というような観点もあり、見直ししていきたいと考えております。こうした方針を示し、また保護者の方や児童生徒の皆さんからご意見をいただきたいと思っておりますので、意見聴取、それから制服に関する簡単なアンケート項目についても資料につけさせていただきます。今後の予定としては、このアンケート項目を参考にしながら9月に制服展示会等を開催した上で、制服の業者を決め、最終的にはアンケートを取りながら制服のデザイン等を決めていきたいと考えております。

3点目は統合中学校の学校名の選定です。こちらにつきましても泉地区統合小学校と同じように公募をいたしまして、その中から開校準備委員会で選定して、最終的に学校名を決定していきたいと考えております。

教育委員の質問と回答

- ・統合中学校の準備委員会の制服についてのアンケートで、これはもう結論から言ったらブレザーにする方向で行くのですか。

(学校再編室長の回答)ブレザータイプに変更したいと考えております。

- ・前定例委員会で制服について調べて報告しますと言いましたので、全国ではどんなことをしているか私なりにネットで調べさせていただきました。今、聞いても資料を見てもブレザーのメリットやデメリットは書いてないのですが、全国のアンケートにはメリット、デメリットが出ていましたので、少しお伝えします。

調べてみると、先ほど教育長も言われていましたようにジェンダーレスが進んだこと、生地や素材や学ランとの違い、洗濯など手入れが比較的楽であること、機能性や経済性を重視して等の理由で、今は制服のブレザー化が進んでいると書かれていました。

ブレザーの制服のメリットは、リボンやネクタイなどを自由に取り替えたり、シャツの色を変えたり、ニットベストを着用したり、制服の多様なアレンジができるということです。また、女性ならスカートのアレンジも可能です。デメリットとしては、冬場など胸元が寒いということです。北条高校では今ポロシャツを着ていますが、買ったならその制服を着ないといけないうこと、またブレザーにするとネクタイやリボンをしなければならないということも書いてありました。

また、制服のカンコーさんの制服アンケートが 2024 年 1 月 30 日に公表されていまして、中学生男女各 200 人、高校生男女各 400 人の計 1,200 人を対象としたアンケートデータがありました。そこで「学ランとブレザーどちらが着たいか」という質問には、男子中学生に限って言えば「学ランがいい」は 39%、「ブレザーがいい」は 35%で、本当に拮抗していました。しかし、女子中学生は「ブレザーがいい」が 48%、「セーラー服がかわいいから着たい」が 30%でした。そして、高校生に関しては男子高校生 52.3%、女子高校生 55.8%が「ブレザーのほうがいい」というデータが出ていました。結論的には男子中学生において「学ランが着たい」か「ブレザーが着たい」で拮抗しているので、そういうことを踏まえた上で、ブレザーにする目的やメリット、デメリットをきちんとアンケートに書いておいた方がいいのではないかと私は思うのです。

そして、ブレザー化はまだいいのですが、あと、ジェンダーレス化を考えて今、女性にもスラックス制服が出てきていまして、スカートか男女関係なくズボンも選択できるようになってきています。これだけではちょっと分かりにくいかもしれませんが、アンケートフォームにもジェンダーレス化が進んでこうなっているという目的をきちんと書いた上で、アンケートをしたほうが、保護者も「ああ、そういうことでブレザー化が進んでいて、加西市もブレザーに変える方向性で行きたいのだな」と分かってもらえます。その上でアンケートをしたほうが本当はいいと思いました。この 1 か月いろいろ調べていたら、これで行けるのではないかというのが私の提案ですが、その辺も踏まえた上でアンケートをされたほうがいいのではないのでしょうか。

(教育部長の回答) どれがいいかということについては、前回のアンケートを取ったときには基本的に拮抗していました。ですが、ジェンダーレス化ということがあり、そこが一番大きいと思います。他市もブレザーに移行されていますから、ますます学生服とセーラー服が減っていきます。そうすると、今の制服の希少価値は高くなりますが、逆に値段は高くなっていきます。今回の意見募集ではジェンダーレスのことや、機能性のことも書かせていただきます。今度のアンケートでは「どれがいいか」ではなく、「ブレザーで行きますので、どんなブレザーがいいですか」というところへ進めていき、その後に見本市を開こうと思っています。

基本は私たちが決められないことなので、保護者や子どもたちに決めていただく

ようにしていきたいと思っています。

- ・ブレザーか学ランどちらがいいのかというのは、皆さんは知っておられたかもしれませんが、先月私は本当に知らなかったので、「いきなりどちらがいいと聞かれても保護者としてはわからない」という思いがあり、アンケートにも何かデータがもう一つあればというところでした。この理由を踏まえた上でアンケートをしたら、結果は違ってくるのではないかと思います。できたらその理由とメリット、デメリットを伝えた上で、加西市の方向性を示したほうが私はいいと思います。よろしくお願いします。

- ・結果からして、例えば「新制服の導入理由」において「令和6年4月アンケートを実施しました」を一番上に持って来てもらって、「近年」という部分を下に持っていくほうが、ブレザー化という方向に動いたことが少し分かりやすくなります。それから、とにかくアンケートを実施したところ、ほぼ拮抗していたと言って、それで耐久性や気候変動など将来のことを考えたらというつながりで書かれたほうがいいのかと少し思いました。

(教育部長の回答) 修正させていただきます。

- ・「他市か近隣市町においても」というところでは、「移行を進めています」ではなく、「進められています」という文章がいいと思います。

(教育長の回答) 理由がわからないということがないように、その説明を丁寧にしていただいて、ただ説明しても、し切れないところはありますが、できるだけ丁寧によりしくお願いいたします。

- ・泉地区新統合小学校では、スクールバスの問題が結構出ているので、中学校のほうも「今後スクールバスのことで検討します」というふうにとどこかで一言だけ加えてください。よろしくお願いします。

1 1 協議事項

なし

1 2 教育委員の提案

なし

1 3 今後の予定について

- ・令和6年第7回定例教育委員会 7月23日(火) 14:00～4階入札室(大)

・令和6年第8回定例教育委員会 8月20日(火) 14:00～1階多目的ホール

14 その他

・こども園を見てきました。おむつの回収は4月からと聞いていたのですが、まだ始まっていないと言っていました。なぜ2か月遅れているのでしょうか。先生に聞いてみたら、子どもがとても多いようです。スタートはいつ頃になりそうですか。

(こども未来課長の回答) こども園のおむつの回収については、4月から民間園に関して実施できるように補助も整えているのですが、私立園についてはゴミ収集の形態を変える必要があります。市独自事情ですが、家庭系の一般廃棄物ということで今、各公共施設のほうは収集ルートターミナルがあり、そのルートで環境課の流れの中で回収をしています。ただ、おむつは本来事業系一般廃棄物ということで、事業者としての排出が必要になってきます。それが市の独自の都合によって2倍の部分で税金がより高くかかるので、わざわざ外に出すことはせずに家庭系のルートの中で回収していたのですが、それ自体を変える必要が出てきて新たな入札をしないといけません。その入札業務を教育総務課に今お願いしているのですが、ちょっと多忙というところだと思います。

(教育次長の回答) 現在、業者等を調整しながらその業務の仕様書作成を行っております。それが整い次第、入札を行って業者を決定し、決まった後はオムツの回収を行っていきたいと考えております。

令和6年6月26日をもち、2期8年の任期満了により、退任される沼澤教育委員から、退任の挨拶をいただきました。

この会議録は、事務局員が作成したものであるが、真正であることを認め、ここに署名する。

令和6年6月25日

出席者

(出席者署名)